

「ジュニア育成基金」

令和6年度のお礼と令和7年度に向けてのお願い

福井県バドミントン協会の組織の一つに、「ジュニア育成基金」があります。別掲の趣旨のもとに、福井県バドミントン協会のジュニア層の育成を援助するために募金活動をおこない、その寄付されたお金を小学生・中学生の強化費や大会参加への補助金としております。令和6年度も3月末までに、122の個人・団体の方々から45万6千円のご好意をいただき、深く感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

令和6年8月には勝山ジオアリーナで第54回全国中学校大会が開催されました。上位入賞こそ逃したものの、ベスト16に5組の選手が入るなど選手強化の成果が見られた大会でした。また、佐賀インターハイにおいては福井工業大学付属福井高等学校の松田仁衣菜選手が女子シングルスで2位、松田仁衣菜選手、相磯美心選手のダブルスでも2位と輝かしい成績を残しました。また山田琉碧選手は男子シングルスでベスト8に入賞しました。この3人の選手は中国の南昌市で行われた世界ジュニア選手権大会で日本代表として出場し好成績を残しています。今後の活躍にますます期待したいと思います。

県協会といたしましても今後もジュニア選手の育成に取り組んでいきたいと思っております。令和7年度も「ジュニア育成基金」に対する一層のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

令和7年4月

福井県バドミントン協会ジュニア育成基金